

三沢市立三沢病院での内科実習を終えて

弘前大学医学部医学科 5年 山口慶紀

初めまして。弘前大学医学部医学科 5年山口慶紀と申します。4月15日から4月24日に消化器内科で荒木先生のご指導の下、お世話になりました。2週間という短い期間でしたが、非常に充実した実習でした。拙い文章で恐縮ですが、この場を借りて実習生日記を綴らせていただきます。



初日は外来での見学から始まりました。患者の症例から鑑別疾患は何か、治療法は何か、なぜこの治療を選んだのかなど先生が質問下さり、自分で考える癖をつけることで臨床的視点を身につけ、どのように養うのかご指導頂きました。他に内視鏡検査を見学しました。ESD、EMR、ERCPなどを経験しましたが、大学での実習で経験できなかった症例も見ることができました。内視鏡治療の際には、実際に治療に携わり、清潔操作や放射線の取り扱い、患者さんとのコミュニケーションを学ぶことができました。

コミュニケーションといえば、三沢市立三沢病院では他職種連携が密になされていることが1つの魅力だと実習を通して感じました。医者だけではなく、看護師や検査技師などの距離がとても近く、互いに支え合う様子が見て取れました。一学生に過ぎない私も話に加わりなと輪の中に混ぜて下さり、その welcome な雰囲気を感じる事ができて、この病院に来て本当に良かったなと感じました。他にも私事ですが、歓迎会を催して下さい、研修先病院のことや消化器内科の魅力など、自身の将来に関する事に相談に乗って下さいました。おかげさまで、自分の将来像が固まり始めるきっかけとなりました。

最後にマンツーマンでご指導頂きました荒木先生を始め、消化器内科の先生方、研修医の先生方、医療スタッフの皆様方、本当にありがとうございました。あっという間の2週間で非常に充実した実習となりました。三沢を離れるのは恋しいですが、来年もぜひ来なよ！と仰って下さり、とても嬉しかったです。来年もお会いできましたら、その時はよろしくお願いします！

実習期間：2024.4.15～2024.4.26